

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット)の活動状況について(概要)

1 実施目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会福祉法人連絡協議会(以下「ほっとかへんネット」)の活動状況を把握することを目的にアンケートを実施しました。

2 実施期間

令和2年10月28日～令和2年11月16日

3 調査対象

令和2年10月時点で設立している34市区町のほっとかへんネット

4 回答状況

34市区町(回収率100%)

5 概要

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、各ほっとかへんネットの活動への影響について

項目	回答数	割合
あった	32	94%
なかった	1	3%
その他	1	3%
合計	34	100%

(2) どの活動がどう影響を受けたかについて(複数回答)

【主な実践区分】

項目	主な実践区分	回答数
中止した	⑦地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	11 市区町
	①地域の要支援者に対する相談支援	9 市区町
	⑩地域住民等との交流・意見交換の実施	6 市区町
中止したが、感染対策に留意の上再開	⑪地域の関係者とのネットワークづくり	5 市区町
活動方法を見直し、継続実施	⑨災害時を想定した要支援者支援に関する取組み	7 市区町
	⑦地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	4 市区町
	⑪地域の関係者とのネットワークづくり	4 市区町

【全回答】

(単位:市区町)

実践区分（具体的な取組み例は別紙参照）	<u>中止した</u>	中止したが、感染対策に留意の上、 <u>再開</u>	活動方法を見直し、 <u>継続実施</u>
① 地域の要支援者に対する相談支援	9	1	2
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	2	1	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援		2	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	1		
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	1		2
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	5	1	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	11		4
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	2		2
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	5		7
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	6		3
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	4	5	4
⑫ 提言・意見具申の取組み			
⑬ その他（中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等）	4	1	1

■「中止したが、感染対策に留意の上、再開」の具体的な内容（抜粋）

事業内容	感染対策
・役員会、実務者会	・オンラインを活用した Zoom での開催。 ・高齢、障害、児童の部門別的小グループで開催。アクリルパネルの使用。
・ふれあい喫茶(9月から再)	・マスク、手指の消毒、換気など基本的な対策。

開、継続中)	<ul style="list-style-type: none"> 市のガイドラインに沿った対策。
<ul style="list-style-type: none"> 市内の大型スーパーへの買い物バスツアー 	<ul style="list-style-type: none"> 手指消毒、マスクの着用、検温の徹底。 バスの乗車定員を半分にし、便数を増やした。また窓際の席に座ってもらうことによりソーシャルディスタンスを確保した。
<ul style="list-style-type: none"> お弁当配達サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 手指消毒、マスクの着用、検温の徹底。 訪問時、正面での対話を避けるよう注意喚起。

■「活動方法を見直し、継続実施」の具体的な内容（抜粋）

事業内容	感染対策
<ul style="list-style-type: none"> イベント等がなくなり、PR活動ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ロゴマークの作成や、従来の広報物の内容を見直し。 ホームページ作成などを通じた発信方法を検討。
<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練や災害研修の開催など 	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の防災備蓄品リストを作成して配布したり、オンライン研修で開催の企画。

(3) 新たに始まった活動について

項目	回答数	割合
あった	7	21%
なかった	27	79%
合計	34	100%

■具体的な内容（抜粋）

きっかけ	内容	活動の効果等
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍だからこそ、「ほっとかへんネット」でできることはないかという声があがり、区社協と検討し、「こども×笑顔 地域まるごとプロジェクト」に協力することになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「キッズボランティア」として、保育の施設の子どもたちから高齢の施設や地域の方々に向けて、メッセージをお届けする活動を地域グループごとに実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や施設の高齢者より返信メッセージが届き、今度は、実際に子どもたちが施設にお届けできたらしいなどの声があがった。コロナ後、地域の中での多世代の交流が広がるきっかけになるのではと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> コロナによる外部との接触制限で入所者の方がたが寂しい思いをされている状況があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 会員法人間で、子供たちなどから高齢者の方へ手紙を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設で、利用者間での横の交流ができた。 もらったお手紙にお返事を送るなど継続的な交流

		ができた。
<ul style="list-style-type: none"> 社協主催のひとりぐらし高齢者のつどいなどが中止していくなかで、代替案としてボランティアにより抗菌布マスク、マスクケース配布などを立案する。 	<ul style="list-style-type: none"> マスクケースについて、デザインやメッセージなどを決め、このマスクやケースを作成する費用を各法人按分する。 	<ul style="list-style-type: none"> この機会を通じて、町内に社会福祉法人の連絡協議会が誕生したことを知っていただくことができた。
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防対策、情報の収集、ご利用者やご家族への通知が事業所まかせになっており、その対応がバラバラであることがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ほっとかへんネット加入法人が運営する事業所が中心となり、市内訪問介護事業所のネットワークを立ち上げ、地域包括支援センターとともに意見交換会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者、ご家族への通知を統一し、すべての事業所から同じ内容を発信したことで、当事者や関係機関の安心につながった。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応等をきっかけに今後取り組みたいと考えている活動があるかについて

項目	回答数	割合
ある	14	41%
ない	20	59%
合計	34	100%